

公開・非公開の別

公開 部分公開

非公開

浜松市障がい者自立支援協議会 西・南エリア連絡会

第2回全体会 会議録

1 開催日時 令和2年12月1日 午後3時から午後4時45分

2 開催場所 西区役所 3階 大会議室 (Web会議併用)

3 出席状況 ※敬称略

構成員	四季の郷	袴田章彦 (Web)
	好生会三方原病院	小山友理子 (Web)
	新津地区民生・児童委員協議会	澤根緑 (Web)
	相談支援事業所まど	鈴木宏幸 (Web)
	浜松市浜松手をつなぐ育成会	松井章子 (Web)
	あさぎり	仲安寛元 (Web)
	浜松自立支援センター (障害者相談員)	水島秀俊
	浜松市教育委員会指導課 (SSW)	長坂聖子

事務局	浜松市西・南障がい者相談支援センター	後藤翔一朗
		古澤則仁
		森田能行
		長谷瞳
		山本恭子
	横田佑輔	
	浜松市西区社会福祉課	安間俊弘
浜松市南区社会福祉課	内藤淳	

オブザーバー	浜松市障がい者基幹相談支援センター	永田貴裕 (Web)
--------	-------------------	------------

※欠席	ワークショップくるみ	袴田みや
	可美地区社会福祉協議会	鵜飼愛子

4 傍聴者 無し (新型コロナウイルス感染拡大防止のため)

- 5 議 事 内 容
- 1 浜松市障がい者自立支援協議会の体制について
 - 2 浜松市障がい者自立支援協議会の活動報告について
 - 3 西・南エリア連絡会の活動報告について
 - 4 その他
 - ア 西・南エリア連絡会キャッチコピーについて
 - イ リモート会議について
 - ウ 第6期浜松市障がい福祉実施計画について
 - エ 浜松市障がい者自立支援協議会全体会について

6 会議録作成者 浜松市南区社会福祉課障害福祉グループ 内藤

7 記録の方法 発言者の要点記録

録音の有無 有・

8 会 議 記 録

1	開 会 司会	浜松市西・南障がい者相談支援センター
2	あいさつ	浜松市西・南障がい者相談支援センター長 後藤翔一朗
3	構成員自己紹介	構成員相互による自己紹介
4	議 事	<p>(1) 浜松市障がい者自立支援協議会の体制について</p> <p>(2) 浜松市障がい者自立支援協議会の活動報告について(資料『浜松市障がい者自立支援協議会体制図』に基づき、浜松市南区社会福祉課より併せて説明)</p> <p>障がい者自立支援協議会を見直した。今年度からの体制は資料のとおり。</p> <p>実働は、専門部会とエリア連絡会。</p> <p>専門部会は相談支援部会、権利擁護部会、地域生活部会を常設。</p> <p>相談支援部会では、2つのワーキンググループを設置。計画相談ワーキングでは、新規の受け入れが可能な相談支援事業所が見つかりにくい現状について、アンケート調査をし、その分析や評価を行っている。また、委託相談評価ワーキングでは、今年度新たに設置をした委託相談(相談支援センター)に必要とされる役割や機能の強化、標準化を図るための評価方法について検討をしている。</p> <p>権利擁護部会では、虐待対応ワーキングを設置。通報窓口の一元化、初動対応の見直し等について協議を重ねている。</p> <p>地域生活部会では、こどもワーキングを立ち上げ、アセスメントツールの作成を行った。相談支援事業所におけるアセスメントの機能強化、標準化が期待される。</p>

エリア連絡会は、委託相談支援事業の再編に合わせて市内を5つのエリアに分けて設置。地域課題の抽出、ネットワークの構築が狙い。

当事者部会は、8月に第1回を開催し、障がい福祉実施計画について協議。

企画会議では、部会とエリア連絡会の進捗を共有し、課題について協議。原則隔月開催し、既に5回実施している。

市全体会は、企画会議を通して整理された部会活動、エリア連絡会活動について報告を受け、協議をする場。原則年2回開催。今年は、9月8日に第1回を実施。

いずれも、今後は市のホームページにおいて会議録が掲載される予定。また、市全体会は傍聴が可能。

< 質疑応答 > ※無し

(3) 西・南エリア連絡会の活動報告について（資料『西・南エリア連絡会活動実績』に基づき、事務局より説明）

西エリアのこども部会では、毎月活動をしている。10月26日の研修では、ダダクリニックから花島氏を講師に招いた。例年60名が参加する研修だが、今年は初のWeb形式とし、30名が参加した。

南エリアのこども部会では、毎年恒例の事業所見学ツアーがコロナ禍で実施が難しいことを受け、事業所紹介の冊子を作成する方向で協議をしている。

相談支援部会では、市協議会専門部会との連動を意識している。また、西区、南区の計画相談のネットワーク構築も視野に入れている。今年度は、各事業所の現況報告等を実施した。

西エリア独自の事例検討部会では、コロナ禍における支援者の役割について、グループワークを実施。密を避けるため、2日間に分けて行った。南エリア独自の地区部会では、コロナ禍の影響が大きく、予定していた食事会の企画や、例年参画している地域の行事等が軒並み中止となり、具体的な活動に至っていない。この状況下で何ができるのか、協議をしている。

全体会は、8月に活動計画（案）、体制図（案）が書面決裁により承認された。

事務局会議は、毎月開催されている。オブザーバーとして、基幹相談も出席。

その他の活動として、地域課題に即応した活動を実施。

1つは、コロナ禍の対応として、7月に西区役所、南区役所にて授産製品のカタログ販売を実施。続いて、令和3年4月に開校するみをつくし特別支援学校に係る事業所送迎問題を受け、7月に事業所向けアンケートを実施し、市協議会企画会議においても報告をしている。また、防災に対する構成員の意識が高いことを受け、連絡会での防災における取り組みを検討する上で、現在構成員向けのアンケートを実施している。

<質疑応答>

・事例検討部会で挙げた具体的な課題とは。

→まだ、具体的な課題としては挙がっていない。ただ、話題として、コロナ禍で休校となり登校できなかったが、通学再開後も登校できない等の事例が話し合われた。

・親の会に属している家族にも、みをつくし特別支援学校への通学を予定している方がいる。そのため、最新の情報を知りたいが、開示予定はあるか。

→12月17日に、学校主催での説明会がある。そこで、バスルートが示される予定。バスルートが示されることで、各事業所の対応に向けた動きがあると思われる。そうした情報収集において、放課後連で動きが無ければ、センターとして取り組み、情報を構成員の方々等に伝えていきたい。

・エリア連絡会の予算は。

→令和3年度の予算要求は締め切られている。コロナ禍で税収の落ち込みがあるため、次年度の予算編成は今年度と同等というわけにはいかないかもしれない。令和4年度予算については、連絡会として必要な予算を要求していきたい。

・予算要求に限らず、行政として柔軟な対応、スピード感を求めたい。

→善処する。

・防災における構成員の関心は高いと思うが、連絡会としての動きは。

→連絡会としての取り組みを検討するにあたり、現在、全構成員に対しアンケートを実施している。

(4) その他

ア 西・南エリア連絡会キャッチコピーについて（事務局より提案）

他のエリア連絡会では、次のとおりキャッチコピーを掲げている。

・中「つながるくらし ともに生きよう この町で」

・東「向こう三軒両隣 つながり広がる東区に」

・北「ずっと北区で暮らしたいと思える地域づくり」

・浜北・天竜「課題解決」

西・南エリア連絡会においても、キャッチコピーを用意したい。参考となる意見を寄せてほしい。それらの意見をもとに、事務局会議にて協議する。

<参考意見>

- ・「いつまでも みんな笑顔で 暮らしたい」。
- ・“つながる”という言葉を入れたい。
- ・「みんないっしょにやらまいか つながりの西・南」
- ・“やらまいか”、“つながらまいか”といった言葉を入れたい。
- ・「つながる 支え合う 笑顔の西・南」

イ リモート会議について（事務局より確認）

コロナ禍において、リモートによる会議が増えてきている。率直な感想を聞かせていただきたい。なお、次回の全体会を年度末に予定しているが、今回同様、Web 会議併用の可能性がある。

<参考意見>

- ・比較的、リモートの会議が多い。
- ・選択肢として、良いと思われる。

ウ 第 6 期浜松市障がい福祉実施計画について（事務局より連絡）

第 6 期浜松市障がい福祉実施計画のパブリックコメントが実施されている。期間は、令和 2 年 11 月 24 日から 12 月 25 日まで。協力願いたい。

エ 浜松市障がい者自立支援協議会全体会について（資料『浜松市障がい者自立支援協議会 第 2 回全体会 傍聴会のご案内』を基に事務局より連絡）

令和 3 年 1 月 18 日、市協議会の第 2 回全体会が開催される。リモートによる傍聴が可能であるため、ぜひ参加いただきたい。個々に Web から入ってもらってもいいが、南区役所にて事務局と共に傍聴することも可能。検討いただきたい。なお、市協議会企画会議の傍聴も、エリア連絡会事務局としては視野に入れている。